



教市立小川小学校

小川っ子だより

第5号

平成30年7月4日

お・思いやりのある子

が・がんばり続ける子

わ・わかる喜びを感じる子

“充実した夏休みに～目標をもって夏休みに入ること”

4月からの4ヶ月、子どもたちはいろいろな学習や行事に一生懸命取り組んでいました。他方、保護者・地域の皆様には、環境美化活動への協力・授業の参観・講演会活動への参加等、学校の教育活動に対してご理解・ご協力をいただきありがとうございます。おかげさまで、計画された教育活動も順調に進み、充実した活動を行うことができたことで、子ども達一人ひとりが心身ともに大きく成長することができました。学校教育へのご理解とご協力大変ありがとうございました。



【子どもにとって大切な夏休み】

さて、いよいよ2週間とちょっとで、子どもたちが待ちに待った夏休みが始まります。始まる前は長いと思っても、いつの間にか終わってしまう44日間（今年は暦の関係で始業式が9月3日）。それが夏休みなのではないのでしょうか。



夏休みは、子ども達にとっては、**1年間の中でとても大切な節目になる時期**（自分の責任で過ごす時間が長いため、充実した物と実感できる子にとっては自分に対する自信がつく～自尊感情が高まり、活動・学習に対する意欲が向上し、可能性を開く事につながります）と、私は考えています。

それは、夏休みの前と後とで、子ども達の言動が変化することから、**心と体が大きく成長したことを伺い知ることが出来るからです。**

休み明けの9月3日には「**今年の夏休みは〇〇をやった素晴らしい夏休みになったよ。**」と目を輝かせて話す子ども達と再会できることを期待しています。

【夏休みの親子での計画立て】

そのためには、「夏休みの計は、夏休み前にあり（1年の計は元旦に有り）」とのように、「〇〇に挑戦する」「〇〇を続ける」という、具体的なイメージを子ども自身に描くことができるようにする必要があります。学校でも指導し、夏休みの目標や計画は立てます。しかし、小学生が家庭を中心とした生活を計画通りに過ごすには、子どもの前年までの夏休みに過ごした様子とお子様の性格をもとに、保護者からの積極的な働きかけが必要となります。この働きかけの度合いによって、夏休みが子ども自身にとって貴重な時間になるかどうかがかかってくると言っても過言ではないと思います。どうぞ、お子さんと話し合いの場をもって欲しいと思います。働きかけの在り方については、ぜひ担任に相談されてみてはいかがでしょうか。



【計画を立てるポイント】

①活動にひたる日設定計画

「家族旅行に行く日」「おじいちゃん、おばあちゃんに会える日」「友だちと遊ぶ日」「手伝いをする日」「宿題を片付ける日」等、活動に没頭する日を作って欲しいと思います。**日頃は、時間に追われて慌ただしい生活を送っています。だからこそ時間を贅沢に使って、夏休みだからこそできる体験をしてほしいと思います。**



②田万川地域の素晴らしさ発見計画

8月15日には、小川夏祭り（アユつかみ取り・神楽舞・盆踊り大会等）が

8月25日には、田万川夏祭り（花火大会等）が

それぞれ、ふるさと作り協議会の方や地域の方が、子ども達も楽しく安心して参加できるようにという熱い思いをもって、企画・運営を行っています。**この機会にお子さんと一緒に地域行事に参加し、(田万川地域の素晴らしさの発見)(親子の絆づくり)をさせてあげてほしいか。**

